

〔古事記中開化〕日子坐王略○中娶近淡海之御上祝以伊都玖此三字以音天之御影神之女息長水依比賣下

〔古事記傳 二十二〕御上祝ハハツリ御上は和名抄に近江國野洲郡三上無美加郷是なり略○中祝は波布理と

訓山城國相樂郡の郷名祝園此記に波布理會能と書り又和名抄上野國新田の郷名に祝人波布利と

あり是波布理てふことの神功紀に小竹祝天野祝ハハツリなど見ゆ神武紀に居勢祝とあるは神社の

大羽振ハハツリ邊ハハツリしハハツリ○中略のさて此御上祝はたゞ御上社の祝部と云とはいさか異にして上卷に

胸形君等之以伊都久三前大神者也ハハツリなどある類なればハハツリ姓なりハハツリ姓氏錄に鴨部祝紀祝波多祝三

歲祝ハハツリなど云姓もある其類なるべし

〔拾芥抄中姓尸錄〕史

〔古事記中傳 三十三〕阿直史は阿知伎能布美毘登と讀べし直字を書れば濁音にてもあらむハハツリ今

せるなり又史は淡海公の名ハハツリなど不比等ハハツリ阿直は姓なりハハツリ祖名に依れるなるべしハハツリ史は書人の意

にも書れば美を省て布比登ハハツリとも訓べしハハツリ阿直は姓なりハハツリ祖名に依れるなるべしハハツリ史は書人の意

にて尸なり此外にも船史壹伎史楊候史ハハツリなどなほ姓氏錄の諸蕃に史の尸の氏々多しさて書

紀にも阿直岐者阿直岐史之始祖也と見え天武卷に十二年冬十月阿直史賜姓曰連

〔倭訓栞前編 二十六〕ふんびと

日本紀に書生又史をよめり文人の義也ふびとともよめり

〔姓序考〕史

史は書人の意也布美毗登と訓べし又淡海公の名史なりしを不比等とも書りしかば美を省き

て布比登ハハツリとも訓べしと師はいはれき寶龜元年九月壬戌以去天平寶字九歲改首史姓並爲毗登

彼此難分氏族混雜於事不穩宜從本字とみえたればひとたびは毗登といはれしかどもまぎれぬるをもてもとにかへされし也故思ふに史は舊職の號なりしが姓になれる也史の職なりし